

懐かしい青春

8月21日、ジブリ映画『コクリコ坂から』をみた。時代は1963年東京オリンピックの前年頃の横浜が舞台、高校生の純愛、出生の秘密ものです。古い歴史ある校内の建物を壊すか保存するかで生徒たちが討論するシーンのセリフで「古いものを壊すこと

は過去の記憶を捨てることと同じじゃないのか？」

「人が生きて死んでいった記憶をないがしろにするというんじゃないのか？」



「新しいものばかりに飛びついて歴史を顧みない君たちに未来などあるか」。この映画は「過去の中から、未来が生まれる」セリフに思いが表れている。

『コクリコ坂から』は、青春映画、歴史ドラマの作品です。太平洋戦争が終わって18年、日本は焼け跡から奇跡の復活を遂げた。そして、高度経済成長の只中、復活の象徴として、日本は東京オリンピックの開催を目前に控えていた。人々は古いものはすべて壊し、新しいものだけが素晴らしいと信じていた。煙突から吐き出される煤煙。道路にひしめく車の土埃。人々でごつ

た返す街。工事や建物の解体作業の騒音。匂い。しかし、それでも海は青く、緑は輝き、空は広く、世界は希望に満ちてキラキラと輝いていた。貧しいけれど、みんなが上を向いて歩こうとしていた時代を生き残ったもの青春。そして、主人公たちの出生の秘密に焦点を当てて、両親たちの戦争や戦後の青春まで遡ってゆく。

混乱の中で、親を亡くした子を自分の子として育てる。そんなことが当たり前だった時代。自分と他人の

境界線が曖昧で、いろんなことに寛容だった時代の青春。"高度成長期"と"戦争"と"戦後の混乱期"、親子二世代の青春を描くことで、自分たちの歴史がこ

た返す街。工事や建物の解体作業の騒音。匂い。しかし、それでも海は青く、緑は輝き、空は広く、世界は希望に満ちてキラキラと輝いていた。貧しいけれど、みんなが上を向いて歩こうとしていた時代を生き残ったもの青春。そして、主人公たちの出生の秘密に焦点を当てて、両親たちの戦争や戦後の青春まで遡ってゆく。

た返す街。工事や建物の解体作業の騒音。匂い。しかし、それでも海は青く、緑は輝き、空は広く、世界は希望に満ちてキラキラと輝いていた。貧しいけれど、みんなが上を向いて歩こうとしていた時代を生き残ったもの青春。そして、主人公たちの出生の秘密に焦点を当てて、両親たちの戦争や戦後の青春まで遡ってゆく。

た返す街。工事や建物の解体作業の騒音。匂い。しかし、それでも海は青く、緑は輝き、空は広く、世界は希望に満ちてキラキラと輝いていた。貧しいけれど、みんなが上を向いて歩こうとしていた時代を生き残ったもの青春。そして、主人公たちの出生の秘密に焦点を当てて、両親たちの戦争や戦後の青春まで遡ってゆく。

た返す街。工事や建物の解体作業の騒音。匂い。しかし、それでも海は青く、緑は輝き、空は広く、世界は希望に満ちてキラキラと輝いていた。貧しいけれど、みんなが上を向いて歩こうとしていた時代を生き残ったもの青春。そして、主人公たちの出生の秘密に焦点を当てて、両親たちの戦争や戦後の青春まで遡ってゆく。

た返す街。工事や建物の解体作業の騒音。匂い。しかし、それでも海は青く、緑は輝き、空は広く、世界は希望に満ちてキラキラと輝いていた。貧しいけれど、みんなが上を向いて歩こうとしていた時代を生き残ったもの青春。そして、主人公たちの出生の秘密に焦点を当てて、両親たちの戦争や戦後の青春まで遡ってゆく。

た返す街。工事や建物の解体作業の騒音。匂い。しかし、それでも海は青く、緑は輝き、空は広く、世界は希望に満ちてキラキラと輝いていた。貧しいけれど、みんなが上を向いて歩こうとしていた時代を生き残ったもの青春。そして、主人公たちの出生の秘密に焦点を当てて、両親たちの戦争や戦後の青春まで遡ってゆく。

た返す街。工事や建物の解体作業の騒音。匂い。しかし、それでも海は青く、緑は輝き、空は広く、世界は希望に満ちてキラキラと輝いていた。貧しいけれど、みんなが上を向いて歩こうとしていた時代を生き残ったもの青春。そして、主人公たちの出生の秘密に焦点を当てて、両親たちの戦争や戦後の青春まで遡ってゆく。

た返す街。工事や建物の解体作業の騒音。匂い。しかし、それでも海は青く、緑は輝き、空は広く、世界は希望に満ちてキラキラと輝いていた。貧しいけれど、みんなが上を向いて歩こうとしていた時代を生き残ったもの青春。そして、主人公たちの出生の秘密に焦点を当てて、両親たちの戦争や戦後の青春まで遡ってゆく。

(有)西川経営オフィスサービス
中村会計
事務所便り
 2011年8月26日 (金) NO. 222
 地域から明るい未来を作ろう

た返す街。工事や建物の解体作業の騒音。匂い。しかし、それでも海は青く、緑は輝き、空は広く、世界は希望に満ちてキラキラと輝いていた。貧しいけれど、みんなが上を向いて歩こうとしていた時代を生き残ったもの青春。そして、主人公たちの出生の秘密に焦点を当てて、両親たちの戦争や戦後の青春まで遡ってゆく。

た返す街。工事や建物の解体作業の騒音。匂い。しかし、それでも海は青く、緑は輝き、空は広く、世界は希望に満ちてキラキラと輝いていた。貧しいけれど、みんなが上を向いて歩こうとしていた時代を生き残ったもの青春。そして、主人公たちの出生の秘密に焦点を当てて、両親たちの戦争や戦後の青春まで遡ってゆく。

た返す街。工事や建物の解体作業の騒音。匂い。しかし、それでも海は青く、緑は輝き、空は広く、世界は希望に満ちてキラキラと輝いていた。貧しいけれど、みんなが上を向いて歩こうとしていた時代を生き残ったもの青春。そして、主人公たちの出生の秘密に焦点を当てて、両親たちの戦争や戦後の青春まで遡ってゆく。

た返す街。工事や建物の解体作業の騒音。匂い。しかし、それでも海は青く、緑は輝き、空は広く、世界は希望に満ちてキラキラと輝いていた。貧しいけれど、みんなが上を向いて歩こうとしていた時代を生き残ったもの青春。そして、主人公たちの出生の秘密に焦点を当てて、両親たちの戦争や戦後の青春まで遡ってゆく。



終わる熱い夏

前原氏も昔と同じ懲りずに又ドジの繰り返しが確実。日本の転換期の夏が過ぎてゆく。日本民族は、有史来、四季の移ろい、自然災害に鍛えられた一億人を超える民族。幾多の絶望的困難の中から常に力を合わせ、寄り添い助け合つて数千年を復興してきました。敗戦で欧米の規範が持ち込まれ地震・原発で、まさに目覚

め脳天に一撃、神風ではないでしょうか。日本人はいまボランティアで多くの老若男女が行動しています。お上依存から画期的。霞ヶ関財務省の税私物化を制限するものです。これまでの開発途上の制度から、真の先進国へ抜け出せる？制度です。孫の代、後生に誇る日本を創る義務が私達にあります。

自分の気持ちをストレートに伝え、ストレートに相手の言葉を解釈する。自分の気持ちからも、相手の辛い言葉からも決して逃げない。自分の本当の気持ちをこまかさず伝える力、相手の気持ちをもそのまま受け止める強さ、これは本来日本人が持っていたものではないだろうか。『コクリコ坂から』の登場人物たちは、そんな正直なコミュニケーション方法を忘れてしまおうとしている私たちに勇気を与え、人と人がつながることの素晴らしさを再認識させてくれる映画です。